

稲城市体協

発行 稲城市体育協会
 電話 0423(78)2111
 内線 (642)
 編集 稲城市体育協会
 広報委員
 発行日 平成8年12月1日
 年月日 第31号

平成八年度

稲城市体育協会の平成八年度評議員会が去る5月17日、消防署講堂に於いて開催された。高橋会長の挨拶に続いて、平成七年度事業経過報告、会計及び監査報告と、平成八年度事業計画(案)、収支予算(案)が審議され、質疑応答を経て、承認された。

基本方針

スポーツ大会の自主運営を含め数々の課題を抱え、協会体制の強化、活性化及び内容の充実と加盟団体の主体性の拡大を図り、スポーツを通して市民の体力強化、健康増進に寄与すべくスポーツレクリエーション事業にも取り組み、更に親しみ、愛着の持たれる協会づくりを目指し活動する。

本年度活動重点目標

- 一、加盟団体の自主性強化と健全財政の確立に努め、今後迎えるべき事業に対応できる力を付けられる活動を推進する。
- 二、指導体制を強化し、指導者の技術向上と事故防止強化に努め、全加盟団体が上部大会に参加できる体制づくりを推進する。
- 三、市営体育施設の建設、改善に積極的に協力する。
- 四、各委員会活動の充実を図り、スポーツ活動のPRを強化する。
- 五、姉妹都市女満別町とのスポーツ交流を推進する。

評議員会開催



仮加盟

稲城市ゴルフ協会



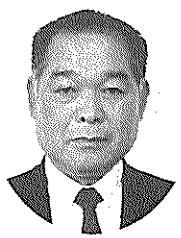
近年ゴルフに親しむ方は非常に増えています。本年度「稲城市ゴルフ協会」が組織され、体育協会へ仮加盟となりました。競技を通じて、市民の体力向上を図り、スポーツの輪がさらに広がり、活性化することが期待されます。

【連絡先】
 会長 川崎 増次
 ☎七七一〇八七二
 事務局長 奈良部 義彦
 ☎七七八一三三五八

よろこび

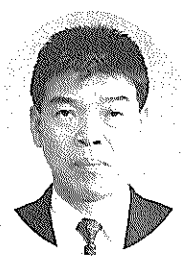
高橋 大助氏

東京都
 教育委員会表彰
 功勞表彰受賞



稲城市体育協会会長、高橋大助氏が東京都教育委員会から表彰されました。この表彰は地域社会の中で体育、スポーツを通じて社会の普及発展に尽力した人に贈られる大変名誉な賞であります。氏は、昭和43年以来稲城市の体育、スポーツの振興と体育協会の発展に寄与された功績により表彰されたものです。

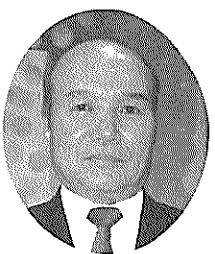
福島 栄治氏



稲城市体育協会、常任理事、福島栄治氏が東京都町村体育協会連合会から表彰されました。氏は昭和49年より地域社会の中で、体育スポーツの指導者として社会体育の振興普及に貢献された功績により表彰されたものです。

田中 光男氏

体育功勞受賞



稲城市体育協会、会計理事、田中光男氏が、平成八年度体育功勞者として東京都体育協会から表彰されました。この賞は、地域社会や職場における社会体育の振興に貢献した人に贈られるものです。氏は、かつてランナーとして活躍した経験を持ち、長く後進の指導育成にあたって来られました。

団体受賞

稲城市バレーボール連盟が、東京都体育協会体育優良団体として表彰されました。



第28回稲城市民体育大会

- 大会期間 平成8年9月1日～9年1月26日
- 総合開会式 平成8年9月1日

市民体育の祭典、第28回稲城市民体育大会は、9月1日(日)稲城中央公園総合グラウンドにおいて総合開会式を行い、20競技にレクリエーション種目を加え熱戦の幕開けとなりました。日頃の練習の成果を試しながら、健康づくり、体力づくりの市民の輪が、さらに広がることを期待されます。

都民大会で優勝

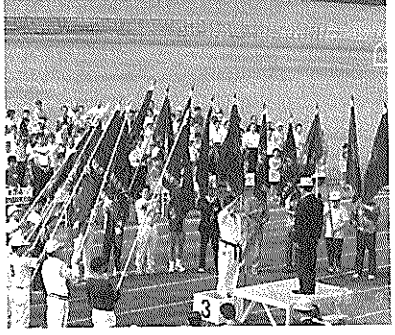
池田 正輝さん

8月11日(日)、東京辰巳国際水泳場で行われた都民大会で百村在任の池田正輝さんが100mバタフライで優勝しました(記録56秒68)。池田さんは4月に川崎市から稲城に引越してきたので、この大会に稲城市から初参加しました。大学時代は、神奈川県代表として国体で優勝。また、社会人となってからは東京都実業団大会で優勝、全日本実業団で4位という実力の持主。ますますの活躍が期待されます。



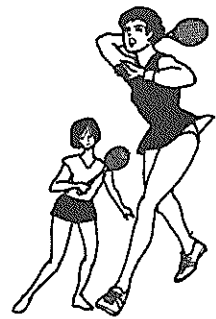
第24回稲城市スポーツ大会開催

稲城市体育協会主催の第24回稲城市スポーツ大会は2月から7月にかけて開催されました。この大会は加盟団体主管のもと、市民の間にスポーツの輪を広げ、健康増進と体力向上を目的にしており、18競技、125種目6310名の参加を得て行われました。





＝姉妹都市＝ 女満別町交流シリーズ



スポーツ交流

稲城から

女満別へ

11月2日から4日までバドミントン連盟がスポーツ交流に女満別町を訪問、交流試合などを行い一層の親近感を味わってきました。

女満別町との スポーツ交流研修会

待ちに待った女満別町への交流研修会である。一人が都合により不参加となり、一行8名が羽田空港へ向かう。空港は連休の初日とあって、猛烈な混みようである。搭乗ゲートの案内では女満別の天気は曇り、温度は4℃と相当に寒そうである。

女満別空港には、体協の役員の方々が大勢で出迎えに来て下さっていた。挨拶の後、早速、知床方面への視察となる。知床五湖等を見学し知床岬へ、オホーツク海からの寒風で樹氷が張り付いている。そして、圧巻はオホーツク海の向こうに見える国後島である。本当に目と鼻の先にある。あまりもの寒さに5分程で引き返す。視察を終え、夜には女満別町、体育協会、バドミントン協会の方々の交流会となる。鈴木教育長を始め、多数の方の出席で大変盛況に行われた。

翌3日は午前中の網走方面視察の後、午後から本命のバドミントン交流試合となる。女満別側は網走市、美幌町からの参加者も含め、総勢30人程である。コート4面を使って、対抗戦、混成チーム戦でゲームが行われ、楽しい時間を過ごすことが出来た。

夜は、女満別町バドミントン協会主催の交流会が開催される。バドミントン協会の若手選手主体のため、大変な盛り上がりである。新鮮な魚貝類と地元の青えんどう

焼酎で北海道の味を堪能する。翌4日の最終日も朝早くから、車を出して頂き、摩周湖方面の視察となる。快晴の中、摩周湖、美幌峠の視察を終え、女満別空港に到着する。帰京に当たっては、吉井協会長を始めとする女満別町のバドミントン協会の方々の見送りを受け、機上の人となる。最後に、今回の交流研修会では女満別町の関係者の方々には大変お世話になりました。紙面を借りてお礼申し上げます。特に3日間のすべての行動を共にして頂いた、横山先生、坂井さん、砂金さんには言葉に表せない程、感謝しています。本当にありがとうございました。

稲城へ

女満別から

交流研修会

平成8年10月25日(金) 27日(日)の日程で、姉妹都市女満別町体育協会より次の方々を来訪されました。

- 神田 昭氏 (バスケットボール協会会長)
- 魚津国太郎氏 (ゲートボール協会副会長)
- 小西 正隆氏 (弓道連盟 会長)
- 高橋喬代子氏 (ミニバレーボール協会)
- 高山 峰子氏 (漕艇協会)
- 仲西 直美氏 (漕艇協会)

女満別町体育協会来訪

10月25日消防署講堂に到着後、交流研修会を開催し、教育委員会より体育課長の出席を得て、体協常任理事、役員及び理事、バレー、弓道、ソフトボール、ユニホックの連盟理事とともに交流研修会は進行しました。高橋会長が歓迎の挨拶を、神田氏が来訪の挨拶をされ、

引き続き出席者の自己紹介が行われました。

このあと大河原理理事長から稲城市体育協会の年間事業のあらまし等について説明がなされ、同じ様に女満別協会の活動についての説明がありました。それぞれの連盟において加入人員の増加が見込めず、対応に苦慮していることが個々のグループ別の交流の中でもていきました。

2時間近い交流の中で11月2日からのスポーツ交流(バドミントン)の女満別訪問のことや、情報交換がなされ、これからもスポーツ交流が続くことが確認されて閉会となりました。

このあと場所を「ひびき」に移し、新たに市長、教育長、連盟理事の参加者を加えて懇親会が和やかに開催されました。数年に及ぶ研修やスポーツ交流での話題にはより一層の親しみがわいていました。

11月3日は来訪団を「よみうりランド」園内に案内、この後稲城市の体育施設の案内、産業まつりを見学して日程を終了しました。私達はこの交流を通じて情報を共有し、これからはスポーツ交流の輪が広がってゆくことを祈ります。

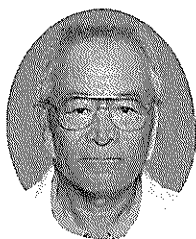


人物紹介 シリーズ

前号より「稲城市体協だより」では、日頃連盟の中で苦勞人や裏方さんの紹介をしています。今回ご紹介の方々に感謝と、ますますのご活躍を期待致します。

〇硬式庭球連盟

房前博人さん



ここに紹介します「房前博人」さんは、小平市のテニスを話す時には決してこの人を抜きにできません。

小平市の競技テニスの創世期より、つい最近までを支えてきた中心人物で、長年に渡り小平市テニス協会理事長を歴任し、稲城にいられた現在もその協会の顧問の要職に就かれています。また房前さんは稲城を始めとした「市町村テニス連盟協会」を統括する「東京都町村テニス協会」の会長をこの16年間努めるなか、三多摩の競技テニスの発展に大いに貢献されています。尚、スポーツの指導者としても「文部大臣認定のA級スポーツ指導員」、商業施設における「A級教師」、日本テニス協会認定のアマテニス、ブレイヤーのランキングである「レーティング査定員」の資格を持ち、地域スポーツの振興のみならず多くのスポーツ指導者を指導しています。

房前さんと稲城の出会いには、昭和57年に「よみうりテニススクール」の校長になられた事をきっかけに、数年前に生活の拠点を稲城に移し、地域スポーツへの関わりを強めると同時に、生徒さん達

に日常でも身近になった事で、より一層コーチの先頭に立って技術指導に奮闘されています。

尚、競技者としても多くの戦績を残し、91年・94年全日本ベテラン選手権60才以上男子ダブルスに連続出場し、93年東京オープンテニス選手権60才以上・男子ダブルス優勝、94年は準優勝を果たす等ブレイヤーとして頑張っています。

勤住接近から、平尾の第3文化センターの近くに居住する稲城住人になった今、硬式庭球連盟の理事として、又、体協の評議員としてだけでなく、房前さんに地域スポーツの指導者として、今後この稲城に腰を据えられ、テニスをはじめ広く生涯スポーツの普及の先頭に立って欲しいと考えるのは、私だけではないでしょう。

現在65才ですが、これらご活躍からみても、いまだ青年であると言えます。

〇硬式庭球連盟 理事長 石井 恵三(記)

〇スキー連盟

阿部公徳さん



冬の生涯スポーツとして、花形であるスキー!!

わが稲城市スキー連盟からは阿部さんを紹介します。

阿部さんは昭和12年生まれの59歳、若い人が多いスキーヤーからみれば失礼ながらシルバースキーヤーといえる世代です。

外見はやや小柄で白髪まじりの温厚な紳士、しかしそのなかにはスキーに対する熱い情熱を秘めた、連盟になくてはならない方です。連盟の主催するスキー教室には、余程の不都合がない限りほとんど参加され、さらに世界唯一の通年

大規模室内スキー場「ザウス」で行っている春期・秋期の連盟特別練習にもほぼ皆勤で参加される、まさに中年スキーヤーの鑑といえる人です。

スキーは競技のトップクラスとなると、雪上の格闘技といわれるほど、激しいスポーツですが、近年さらにコブの急斜面を高速で滑り降りる「モーグル」という過激な種目がブームを呼んでいます。

阿部さんが現在目標としているのは、競技までとはいかなくてもその「モーグル」種目にチャレンジしており、その努力には連盟一同敬意を感じている昨今です。

体育協会関係については、その人柄から体育協会評議員をお願いしておりまして、誠実に役目を遂行され、連盟を影からささえています。

ちかごろ、スキー場では中高年の方が優雅にスキーを楽しんでいる姿を見かけます。若い頃スキーをたしなんだことのある人は阿部さんを見習い、雪の上に再デビューしてみても、いかがでしょうか。

〇スキー連盟 比留間(記)

〇ラグビー協会

藤長晃興さん

稲城市ラグビー協会会長、藤長晃興さんをご紹介します。

藤長さんは、十年来、自らラグビーチーム「どんぐり」クラブを率いる傍ら、稲城市ラグビー協会設立、発展に尽力され、今日に至っています。

ご尊父がラグビー選手だった影響もあり、ラグビーに対しては、昔から並々ならぬ思い入れがあったようです。若い時分は、クラブラグビーの草分け的存在である「ぐるみ」クラブに所属し、活躍されてきました。

平成2年、「稲城の地にもラグビーの灯を」という決心から、在住、在勤者、さらには近隣各市の愛好者に呼びかけ、稲城市ラグビー

協会設立に奔走されました。せっかく灯った火を絶やさないため、現在、稲城市ラグビー協会では、人材確保の厳しい中、年2回のラグビーフェアーの開催、市民大会、スポーツ大会への参加、稲城選抜対くるみクラブの定期戦の実施等の事業を行っています。藤長さんは、会長としてこれらの事業の文字通りの推進役であることは言うまでもありません。また、4年前に、四十才以上の精鋭チーム「稲城ナッシング」(ナッシングは稲城の名物「梨」から命名)が設立されましたが、藤長さんは当然、不動のメンバードです。



▲ボールをキープ藤長さん

バレー奮闘

第30回市町村大会

平成4年に開かれた、稲城市開催の東京都町村総合体育大会で男子バレーは念願の優勝を遂げてから、はや4年の歳月が流れましたが、それ以来優勝の二文字にはいま一步のところまで涙を吞んで来ました。今年こそはの意気込みで望んだ8月4日の第30回大会でしたが、常勝を期待されて、声援をいただいた皆様方には、感謝の念が堪えません。紙面をお借りして心より



(小林記)

お礼申し上げます。さて、折角の機会なので少しバレーボールの歴史について書かせて頂きます。今ではポピュラーなスポーツになりましたが、どうして出来たかについては、あまり知られていないと思います。現在行われている数多いスポーツはイギリスにその起源を持つものが多いですが、バレーボールはバスケットボールと同様アメリカ人によって考案されました。このバレーボールは、一八九五年アメリカのマサチューセッツ州にあるYMCAのウィリアム・ジー・モルガンによって考案されました。その考案の動機は、ネイスミスによって一八九一年に考案されたバスケットボールのように過激ではなく、もつと温和で適度の興味と運動量を持ち、老若男女が手軽に楽しめる室内でのレクリエーションスポーツとして考案したと言われています。

この新しいゲームの基礎として、テニスからそのヒントを得たと言われていますが、最初一本のロープを体育館に張り、次にテニスのネットを2m弱の高さに引き上げ、テニスボールの代わりにバスケットボールの中袋を取りだしてこれを用いてラケットの代わりに手でボールを打ち返す方法を考えました。ボールが軽すぎて遠くに飛ばず、その後工夫改良を重ねて現在のボールが使用されるようになりました。名前については、初めMintonetteと呼ばれていましたが、テニス用語ヴォレー(ボールを打ち合う)からハルステッド博士の示唆により Volleyball という名前が出来上がりました。いつでも誰でも手軽に楽しめるバレーボールを是非皆さんも始めてみて下さい。

第8回都民スポーツレクリエーションフェスティバル結果



平成8年度 東京都青年大会競技結果

☆弓道 予選落ち (予選通過は参加30チーム中、上位8位まで)

☆バスケットボール
一男子— 1回戦 対渋谷区 54:43
2回戦 対文京区 47:72

☆バレーボール
一女子— 1回戦 対品川区 0:2

稲城市代表選手 大健闘!! 都民スポレク

第8回都民スポーツレクリエーションフェスティバルの陸上競技大会が開催されました。8月31日に駒沢オリンピック公園陸上競技場において、稲城市からは、6名が9種目に出場し、1位が5種目、2位が2種目とみごとな成績を残しました。

<p>☆ゲートボール A組 3勝0敗 対あきる野市 16:10 対小金井市 15:10 対国分寺市 10:8</p> <p>B組 1勝2敗 対町田市 9:21 対小金井市 16:11 対清瀬市 10:15</p> <p>☆剣道 1回戦 対杉並区 1:2 2回戦 対荒川区 1:2</p> <p>☆ソフトボール 1回戦 対世田谷区 9:12</p> <p>☆スポーツダンス 団体 Aチーム 14位 Bチーム 20位 個人 オープンM 居樹組 優良賞 上級M 関口組 優良賞 中級L 阿部・浅井組 優良賞 上級L 清川組 優良賞 シニアL 内田・田尻組 優良賞</p>	<p>☆弓道 予選落ち (予選通過は42チーム中、上位8位まで)</p> <p>☆綱引き 決勝トーナメント進出 (ベスト8位)</p> <p>☆陸上 100m Bクラス 藤田 文夫 1位 200m Bクラス 藤田 文夫 1位 800m Cクラス 秋本 久雄 2位 1,500m Cクラス 秋本 久雄 5位 1,500m Eクラス 福島初五郎 7位 砲丸投げ Cクラス 藤長 晃興 2位 円盤投げ Cクラス 藤長 晃興 1位 やり投げ Dクラス 菅沼 史雄 1位 1,500m Cクラス 石坂 淑子 1位</p> <p>☆サッカー 1回戦 対小平市 1:0 2回戦 対港区 2:2</p> <p>☆硬式テニス <3部 優勝> リーグ戦 A 対千代田区 1:2 対大田区 0:3 トーナメント 1回戦 対新宿区 3:0 2回戦 対台東区 3:0 準決勝 対墨田区 2:1 決勝 対港区 2:1</p>
--	--



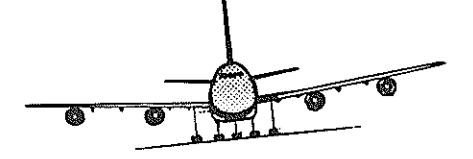
市町村大会



- 都民大会
- 昭和43年度 稲城市体育協会設立
 - 昭和44年度 加東連盟
 - 昭和45年度 南多摩郡として参加
 - 昭和46年度 南多摩郡大会参加
 - 昭和47年度 第22回都民大会参加
 - 昭和48年度 体協旗作成
 - 昭和49年度 第1回稲城市民体育大会
 - 昭和50年度 第23回都民大会参加
 - 昭和51年度 第24回都民大会参加
 - 昭和52年度 第5回市町村総合体育大会参加
 - 昭和53年度 第3回稲城市民体育大会

あゆみ

S43~ S46



第30回 市町村総合体育大会結果

☆バレーボール <男子…準優勝・女子…5位>
男子 1回戦 対昭島市 2:0
2回戦 対国立市 2:0
準決勝 対青梅市 2:0
決勝 対三鷹市 0:2
女子 1回戦 対東村山市 2:0
2回戦 対町田市 2:0
3回戦 対武蔵村山市 0:2

☆ゲートボール
対青梅市 12:16
対多摩市 12:18

☆剣道
女子 準優勝
男子 5位

☆弓道 <予選落ち> (予選通過は参加30チーム中、上位8位まで)

☆卓球 <男子 ベスト8>
男子 1回戦 対羽村市 3:0
2回戦 対三鷹市 3:2
3回戦 対国分寺市 1:3
女子 1回戦 対東村山市 0:3

☆空手道 <敢闘賞 同率5位>
1回戦 シード
2回戦 対福生市 3:2
3回戦 対小平市 0:5

☆バドミントン
男子 1回戦 対多摩市 1:2
女子 1回戦 対東大和市 0:3

☆陸上
砲丸投げ (40歳以上) 藤長 晃興 3位
3000m (50歳以上) 秋本 久雄 10位

第49回 都民体育大会結果

☆剣道 1回戦 対品川区 0:5

☆サッカー 1回戦 対小平市 4:0
2回戦 対台東区 3:1
3回戦 対多摩市 0:3

☆ゲートボール
男子の部 対武蔵野市 8:19
対足立区 10:19
対中野区 25:9
対江戸川区 5:17
女子の部

☆弓道 <男・女共予選落ち> (予選通過は40チーム中、上位8位まで)

☆スポーツダンス <予選落ち 30チーム参加>
☆射撃 <総合27位 40チーム参加>

☆バレーボール
男子 1回戦 対北区 1:2
女子 1回戦 対清瀬市 2:1
2回戦 対武蔵村山市 0:2

☆軟式野球 1回戦 対品川区 0:10

☆バドミントン
男子 1回戦 対目黒区 1:2
2回戦 対目黒区 1:2
女子 1回戦 対北区 0:3
2回戦 対北区 0:3

☆ソフトボール
男子 1回戦 シード
2回戦 対東大和市 7:12
女子 1回戦 対多摩市 1:14

☆空手道 1回戦 対台東区 0:2

☆硬式テニス
男子 1回戦 シード
2回戦 対中野区 1:2
女子 1回戦 シード
2回戦 対練馬区 1:2

☆バスケットボール
男子 1回戦 対目黒区 72:60
2回戦 対江戸川区 53:85
女子 1回戦 対豊島区 24:101

☆卓球
男子 1回戦 対武蔵村山市 3:1
2回戦 対昭島市 3:1
3回戦 対北区 0:3
女子 1回戦 対清瀬市 2:3

渾身の力を振りしぼって!!

第三十回市町村総合体育大会

八月四日、市町村総合体育大会の剣道競技が青梅市において行われた。この大会は多摩地区に於ける最大のイベントであり、今回の大会には二十七市町村が参加して行われた。昨年は全国的な経済不況の煽りを受け開催できなかったこともあり各市のチームに今大会にかける意気込みが感じられ、試合開始前から場内に激しい熱気が感じられた。我が稲城市の代表たる精鋭は男子は大将 盛選手以下 5 名、女子は大将 栗山選手以下 3 名、男子チームは一回戦 田無市を 4-0 で下し、二回戦 武蔵村山市を 2-1 で下したが、準々決勝で大将戦となつて惜しくも敗退する。男子の試合は決勝戦に東村山と瑞穂が上がつて瑞穂町が優勝した。



一方、女子チームは先鋒に予定していた流合選手が都合で出られず、監督として采配を振るう菅の小池さんが出場する。一回戦は福生市を 2-1 で、二回戦は八王子を 2-1 で、三回戦は青梅市をまたも 2-1 で下し、決勝戦に駒を進める。対する相手は隣の日野市のチーム、日野市も三度の戦いを僅差でくり抜けてきた強豪である。この日、先鋒の小池選手は若手の相手選手のスビードにおされ気味で、初戦で一本勝ちをしたが、さすがにその後は息切れ、神谷選手は三回戦で大将戦を引き分けの厳しい戦いの連続となつたが、粘り強い攻めで勝ち抜いてきた。決勝戦となつてさすがに疲れが出たのか、相手の勢いに押され、先鋒から打たれて取り返す機会を見出せず試合は終了となつた。今回の試合は男子女子ともに各チームの実力が伯仲し、見応えのある素晴らしい試合であった。

無念の涙をのむ!!

十月六日多摩市において行われた西東京の剣道大会に当稲城市から少年の部、男子一般の部、男子個人戦の部、女子個人戦の部にそれぞれ参加しました。

この大会は二十八の各市の剣道連盟が参加して盛大に行われ、日頃の練習の腕を披露したもので、結果は、少年の部は一回戦で八王

一方、女子は個人戦のみとあつて戦意は高く、昨年一部優勝の栗山理恵選手(スパー三和稲城店勤務)、を筆頭に、木村美代選手(富士通勤務)、流合ルミ子選手(富士通勤務)の三名が参加し、木村選手は一回戦、二回戦を勝ち抜いたが、三回戦あえなく八王子市の中谷選手に打たれる。栗山選手、流合選手は一回戦、二回戦を勝ちぬいて、ここで稲城同士の勝負となつた。両者とも激しく火花を散らし攻め合うが打つ機会をとらえられない、流合選手が強引に打ちに出て打ちこたへとなり、分かれ際、一瞬気を抜いたところ栗山選手が面に打つて出る、試合は終始慎重に攻めて機会を伺っていた栗山選手の本勝となる。

栗山選手は準々決勝でも慎重な攻めで東久留米市の島村選手を敗り決勝戦に進めた。相手は隣の町田市の柳選手、両者なかなか打つ機会をとらえられず慎重に機会を伺う、ややあつて、柳選手が先をかけて面に飛んでくるのを栗山選手はこれを応じ返して胴に行く、みごと決まったかのように見えたが審判の旗は動かない、なかなか勝負はつかない、互いに一本を取ったあとと着着状態となり、激しく剣先の攻め合いが続き満を辞したように栗山選手が面に飛び込む、しかしわずかに早く柳選手がこれにこたへて胴に返した、面も届いていたかに見えたが審判の旗は柳選手の手の上がる。

栗山選手は持つて来た優勝旗を返すこととなったが、見ている者を唸らせる白熱した試合内容であった。

- 【出場選手】
- 少年の部
 - 先鋒 松田 義雄
 - 次鋒 小林 健一
 - 中堅 黒田 雅之
 - 副将 白神 将信
 - 大将 平沢 善洋



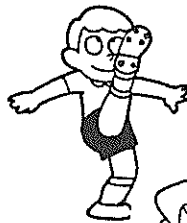
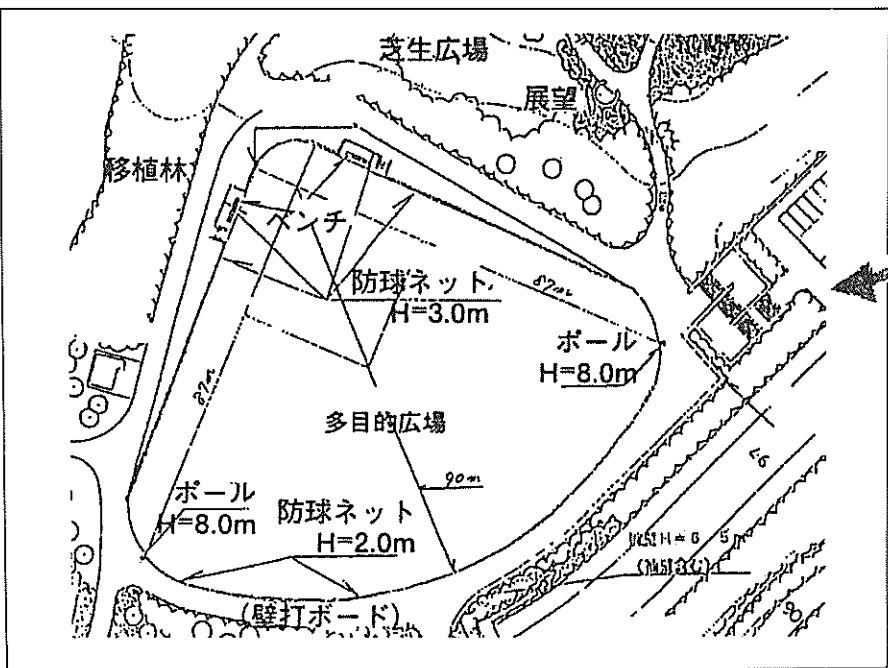
ナイター設備のある多目的広場

永年の要望が実ります。ナイター設備のある運動広場が平成10年オープンの予定です。

稲城第三公園内に今年度着工

■多目的広場としての使用内容■

- ①軟式野球
- ②ソフトボール (バックネット高 8 m)
- ③少年サッカー (70 m × 50 m)
- ④ラグビー
- ⑤ニュースポーツ(インディアカ、グランドゴルフ、ゲートボール等)
- ⑥付近住民の行う盆踊り、お祭りなどの催し会場としての使用
- ⑦その他



賛助会員の皆様へ

日頃より体育協会の活動について深いご理解を賜わり有難う存じます。厳しい経済状況の中、体育協会では健全財政の確立に努めておりますが、未だ賛助会費にその一部を頼っているところですので、今年度、寄せられた賛助会員の皆様により感謝申し上げます。今後とも、尚一層のご支援をお願い申し上げます。

編集後記

姉妹都市女満別町とのスポーツ交流は、十月に視察来訪があり、引続きバドミントン連盟が女満別を訪問し、その目的を達しました。又、連盟を支えている方の人物紹介もしております。私達はスポーツを通してさらに市民の体力健康づくりに努めます。

編集委員長	池水 和己
副委員長	川 秀武
委員	志村 精二
	山口 和美
	遠藤 雅義
	渡辺 勝子
	篠崎 好史
	武田 保彦
	鈴木 真
	田中 真
	斉藤 博
相談役	松浦 里行